

正 誤 表

「ベクトル視点でやさしく読み解く呼吸器外科手術解剖イラスト（第2刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

| 頁 | 該当箇所 | 誤 | 正 |
|----|---|---|---|
| 79 | 【①②③縦隔胸膜切開・V ⁴⁺⁵ 同定切離】・6～9行目 | <ul style="list-style-type: none"> ・上肺静脈の血管鞘を剥離（剥離鉗子・電気メス・ツツペル等を使用）し上肺静脈を同定，さらに末梢に向かって剥離し，<u>V¹⁻³</u>を確保する。 ・<u>V¹⁻³</u>を自動縫合器等で切離する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・上肺静脈の血管鞘を剥離（剥離鉗子・電気メス・ツツペル等を使用）し上肺静脈を同定，さらに末梢に向かって剥離し，V⁴⁺⁵を確保する。 ・V⁴⁺⁵を自動縫合器等で切離する。 |
| | 同・13～14行目 | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>肺静脈</u>を切離する自動縫合器で <u>A³</u>や <u>A¹⁺²</u> 断端を巻き込まないよう留意する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・V⁴⁺⁵を切離する自動縫合器でV¹⁻³を巻き込まないよう留意する。 |
| | 【④⑤V ^{3a+b} 沿いの剥離と舌区支の同定】・1行目 | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>切離した V¹⁻³の尾側を辿り，</u> | 当該文削除 |
| | 同・4～5行目 | <ul style="list-style-type: none"> ・肺静脈の背側に上葉支が走行する。その周囲を十分に剥離し<u>上区支</u>を同定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・肺静脈の背側に上葉支が走行する。その周囲を十分に剥離し<u>舌区支</u>を同定する。 |
| | 同・8～10行目 | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>葉間視野から上区支の剥離が十分にできている場合はここで上区支の切離（自動縫合器等）が可能である。</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・縦隔型A⁴⁺⁵の場合は，上肺静脈と上葉支の間をA⁴⁺⁵が走行する。 |

2024年2月1日

株式会社南江堂